



(1) 北 隆 館 南 側 玄 關。

北 隆 館 新 築 工 事 概 要

昭和8年3月11日 地鎮祭
 同 日 起 工
 昭和9年5月20日 上棟祭
 同 年9月13日 竣工(従事総員19825人)
 位 置 東京市京橋區横町三丁目三番地
 五號(社有地)

敷地面積 293坪6合

總床面積 1236坪7合5勺

地 階	251.01坪	第四階	193.36坪
第一階	215.80坪	第五階	124.08坪
第二階	219.75坪	塔 屋	21.48坪
第三階	211.27坪	外 露 臺 面 積	86.53坪

建 物 高 (塔屋上端まで)74尺

樣 式 近 世 式

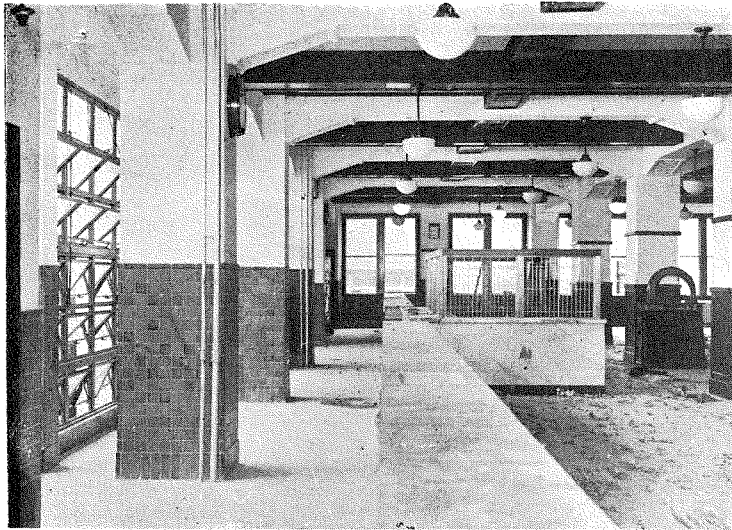
構 造 基礎地業は地下15尺迄を總掘と

なし、全面松杭打を施し、その上に鉄筋コン
 クリート連続基礎盤を築造したり。

柱・大梁は鉄骨鉄筋コンクリート造、小梁・各
 階床版・外壁全部及主要なる内壁は鉄筋コン
 クリート造とし一部の内壁は木骨金網張モル
 タル塗りとしたり。

外 装 外壁の大部には青白色タイル貼
 りを施し一部は白色スタッコ仕上げとし、軒
 先その他にはテラコッタ及富國石等を貼付け
 裝飾したり。

内 装 床面は大部分ぶな材縁子板張り
 壁面には紙貼り板張り及漆喰塗り等を施し、
 天井は漆喰塗りを主とし二階事務室・五階集
 會室・應接室・電話室にはセロテックス張り
 とし漆喰面には着色塗料を施したり。



(2) 二階來客用廊下。

屋内照明 電燈は主として半間接照明法を採用し、事務室及各作業室には床面約3坪に對し平均約一燈（配線100ワット平均・實裝60ワット平均）の割合にて配置す。

昇降機 人員用15馬力1臺 地階より五階まで

積載量1英トン、速度毎分150尺

荷物用15馬力1臺 地階より五階まで

積載量1.5英トン、速度毎分.00尺

ゴムウエーターリフト 1馬力1臺 1階より5階まで

積載量 0.55 キロ、速度毎分 100 尺
(押釦自動装置)

電氣設備 東京電燈株式會社より高壓3300ボルトにて供給を受け、15キロの變壓器6臺を以て低壓に變電して屋外及屋内照明(420燈)・各電動機 電鈴・電氣扇・電氣ストーブ・電氣時計(24個)等に配電す。

電話設備 局線を地下ケーブルによりて引込み、ラインファインダー式自動交換機を以て局線8、私設線50個を接続す。尚、一階守衛室(南側受付)に「夜間電話集合臺」を設置して夜間の受信に便せり。(日本電氣施工)

書類氣送装置 全階を通じて12個の氣送機

を配置し、別にキャリヤー(書類筒)交換機を設けたり(氣送重量50グラム)。

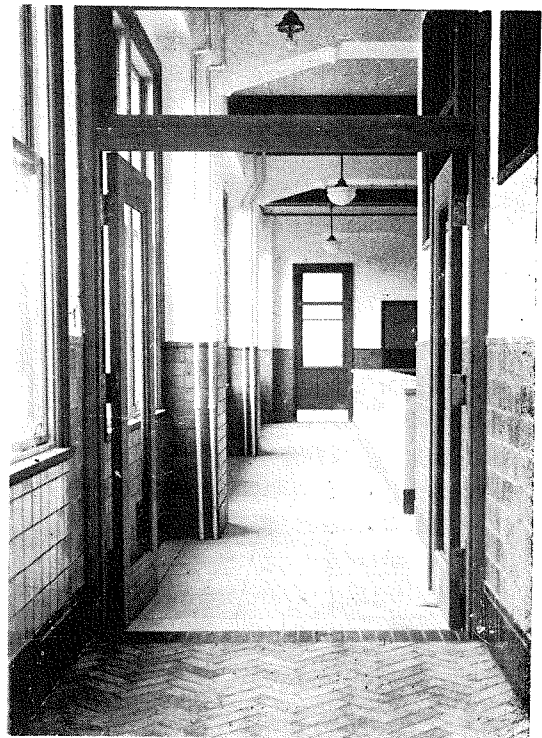
蒸氣暖房装置 粉炭自動燃焼汽罐²基を備へ、之に「シャワー」への給湯装置を兼設せり。

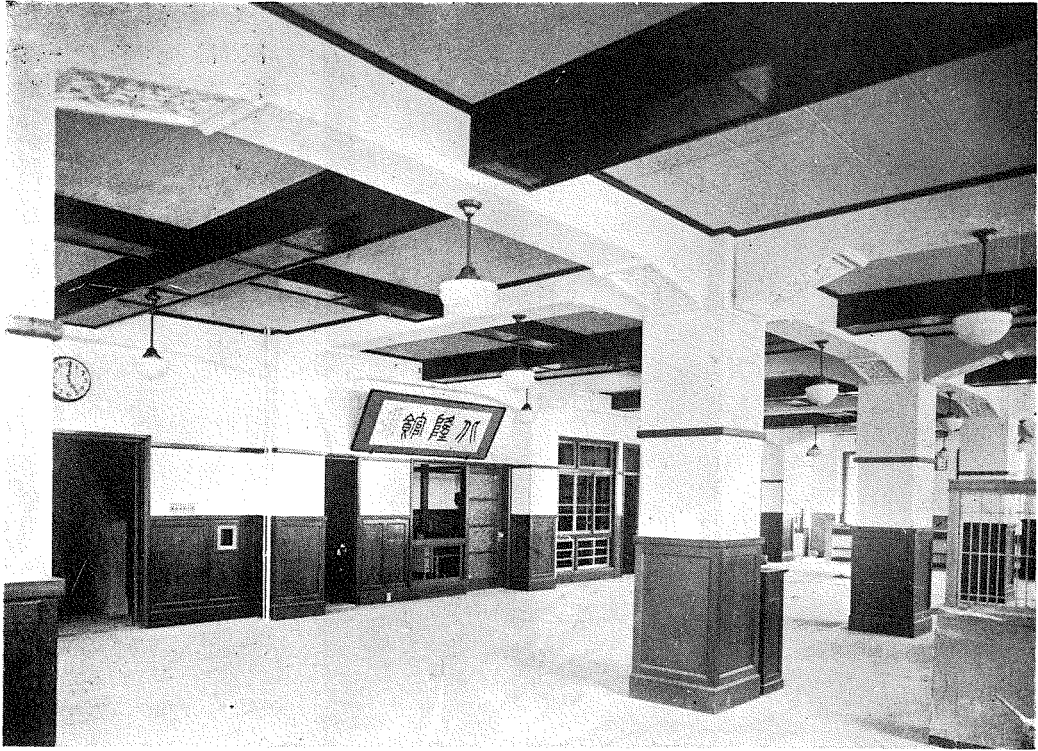
給水装置 東京市水道局より上水の供給を受け別に鑿泉一個(深さ200尺一晝夜涌水量1500石)を設けて雑用水源となし夫々屋上水槽に揚水し、之より各階に配給す。

排水及衛生設備 一階

以上の排水は總て直接市の下水道に排流し、地階の汚水は之を地階ポンプ室内貯水槽に集

(3) 同上。





(4) 營業事務室。

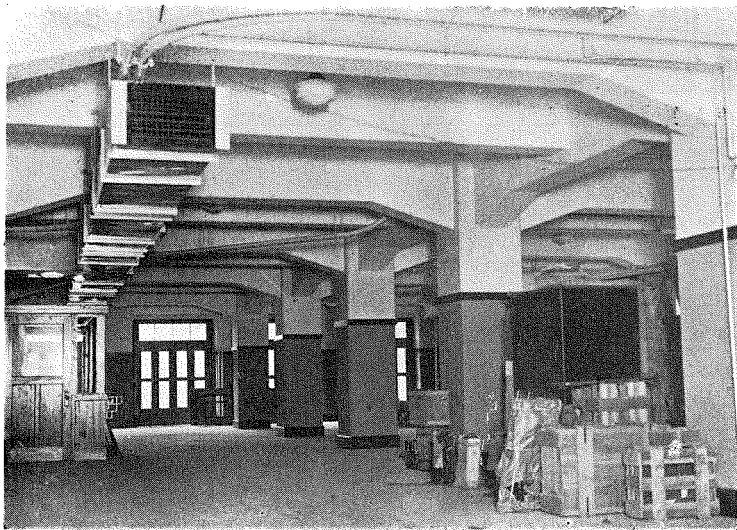
め、排水ポンプによりての下水道に排流す市「便所・洗面所」は全階を通じて九ヶ所「シャワー」室は地階及四階に各一ヶ所つゝ、尚一階に「足洗場」を設けたり。

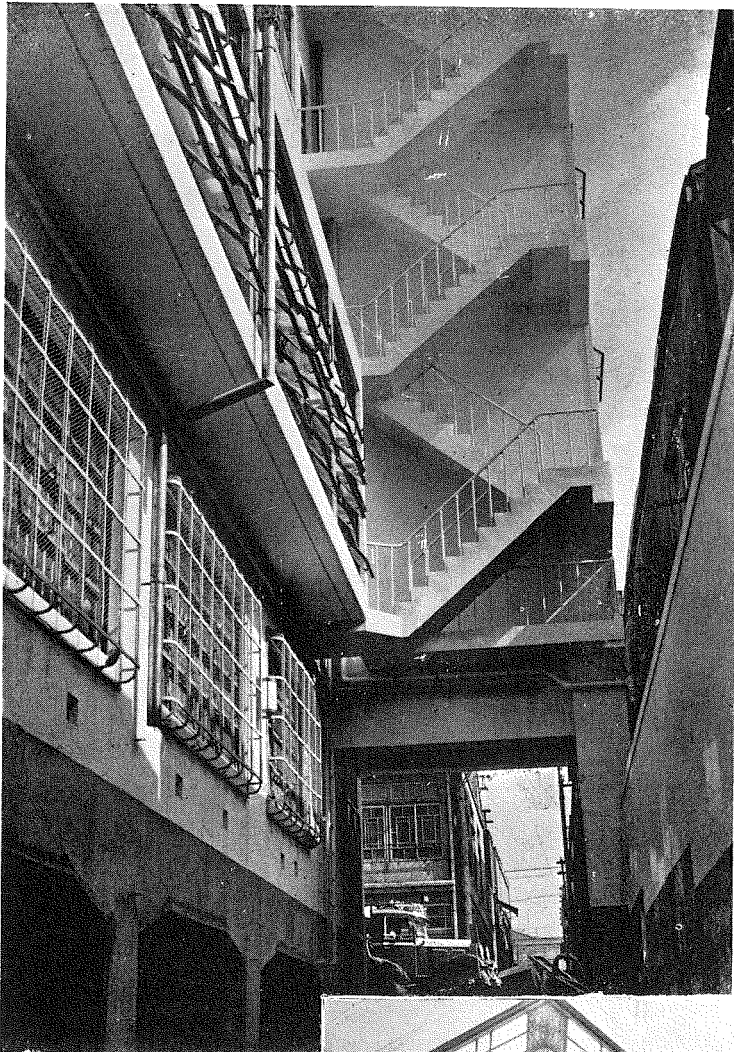
排氣装置 地階及一階の荷造場、その他必要箇所吸気筒を設け、之より廢氣を階排氣機室に導き、排氣機により屋外に排除す。

消火用水栓 各階に2個、屋上に1個(合計18個)を設置す。屋外に對しては撒水栓2個を設けて消火栓を兼ねしめたり。尚各階2ヶ所に藥劑消火器を裝備す。

瓦斯設備 東京瓦斯株式會社より瓦斯の供給を受け、ストーブ及湯沸用として設備す。

(5) 四階雜誌倉庫。





(6) 東側の一部と階段

工事関係者
設計 小林政一氏
施工 戸田組

(7) 五階集會室

